

皆さまこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

現在、本市は感染予防効果を高めるとされる、新型コロナウイルスの3回目接種に全力で取り組んでいます。更なる取り組みとして、5歳から11歳へのワクチンの接種を、来月(3月)から開始します。なお小児用ワクチンの供給量が限られていることから、まずは基礎疾患等をお持ちのお子さんと、その兄弟姉妹の接種を優先します。

厚生労働省によれば、国内の小児の感染例では、中等症や重症例の割合は少ないものの、新規陽性者が増加する中で、重症に至る症例数が増加傾向にあるとされています。また、基礎疾患がある小児では、感染により重症化するリスクが高くなると言われており、ワクチン接種により、これらのリスクを低下できることが確認されています。

一方で、多くの方が心配されている副反応については、12歳以上の皆さまと同様に倦怠感や頭痛、発熱など、様々な症状が確認されていますが、現時点では安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。

保護者の皆さまには、公的機関が提供する情報等を参考にして、お子さんの健康状態や、同居するご家族の状況などを考慮し、お子さんとともにワクチンの接種をご検討いただくようお願いいたします。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ  
平成21年5月～さいたま市長  
5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選。共栄大学客員教授、指定都市市長会副会長も務める

## さいたま市教育委員会は学校法人都築学園 日本薬科大学と協定を結びました！

さいたま市教育委員会と学校法人都築学園日本薬科大学は、教育活動の充実および健康、医療、スポーツ、SDGs等の普及・振興をとおして市民の健全な心身の発達に資することを目的とし、相互に連携・協力するための協定を締結することになりました。

本連携協定に関するプロジェクトとして、「元気になる食品・食事メニューを開発し、さいたまのプロスポーツ選手を応援しよう」「心を整える香りを開発し、日米の受験生を応援しよう」を実施いたします。本プロジェクトの趣旨に賛同する協力団体と打合せを重ね、本市の児童生徒に多様な学びの機会を提供できるように取り組んで参ります。